



令和7年9月1日
浦和明の星幼稚園
園長 栗田 亨

立秋はとうに過ぎ、2学期が始まるというのに、真夏の暑さが続いています。夏季保育の初日は、まだ小学校が始まっていなかったため、兄姉と一緒に登園する子も多く、中には自分だけ幼稚園に通わなければならないためか、大泣きする子もいたようです。

いつものことですが、夏休みの活動について振り返ってみましょう。

7月18日(金) 比較的暑くなく、雷の心配もなく、賑やかに納涼祭を行いました。今年は、混雑を避けるため時間差をつけて踊り、模擬店での活動を園舎の中で行いました。年少さんは、丸く輪になってしっかり踊っていました。年中さんは、腰を落とし力強く踊っていました。ひかり組や未就園児のかわいい姿も印象的でした。模擬店では、お面があつという間に売り切れ、賑わっていました。

7月22日(火) 年長の「はッピー ふうー！ わくわく きらきら かい」では、今年は、クラスごとの出し物に加え、初めてパンケーキを焼いて食べる経験をしました。どのクラスも、自分のやってみたいを話し合い、学年皆でやってみたいを実現するために準備を進めてきました。それが一気に花開き賑やかな会となりました。今年も、子ども達のやってみたいが繋がれば、いいなあと思います。

7月26日(土) 第3回特別体験・見学会を行いました。園バスでのチャペル・構内巡りに加え、園の一角・おやつ体験など如何に園のよさを知っていただくかに重点を置きました。アンケートでは、「のびのびと幼稚園で過ごせそうだなと思いました。プールの床が動くのがすごいと思いました。優しい子に育てほしいので色々な面で魅力的だなと思いました」など、他園の入園も考えている方からもたくさんのお褒めのお言葉いただきました。9月29日(月)の第4回見学会では、プールでの水遊び体験を実施します。一人でも多くの皆さんに本園のよさを知っていただければと思います。

8月25日(月) 星の子の集いには、73名の卒園児が集いました。みんな実家に帰ってきて生き生きとしていました。ドッジボールで誰が投げると味方同士が争わずに、話し合いやじゃんけんで決め、5年次研修で来園した近隣の小中学校の先生を驚嘆させる場面も見られました。小学校での生活や勉強の様子聞き取りでは、卒園前に3回大牧小を訪問したため、比較的スムーズに進学できたという声が聞かれました。午後からの幼小中学校教員交流会の様子は、市の幼児政策課や教育委員会の先生にも見ていただき、どのように小学校へつなげるか、小学校でどのように受け入れたらいいか、「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」を基に忌憚のない意見交換ができました。

今日から2学期です。今年は、創立60周年の年、11月9日(日)には、全園児、おひさま教室、星の子くらぶ、パピーくらぶ、卒園生およびその保護者、地域の皆さんにお集まりいただき記念式典と観劇会を開催します。劇は、コロナ禍で中断された劇団「銀河鉄道」による着ぐるみ人形劇を上演します。これは、コロナで見ることが出来なかった卒園生にもぜひ見てほしいという先生方の熱い思いで実現したものです。事前申込制で、小学生でも地域の乳幼児でも観覧できるようにしようと考えています。詳しくは、ホームページに記載しますのでよろしくお願ひします。また、卒園生や本園に関心のあるお知り合いの方に、皆さんの口コミで広めていただき、大勢の方に劇を見ていただき、本園の60周年を祝っていただきたいと考えています。

園では、運動会やクリスマス会、作品展など創立60周年をお祝いする特別なプログラムを考えています。詳しくは、行事が近づいたらお知らせしますので、ぜひ楽しみに待っていてください。

なお、突然ですが、2学期より園からの配付物は、園長挨拶と予定表以外は、「れんらくアプリ」での配信とします。ご不便をおかけする方もいらっしゃると思いますが、宜しくお願ひします。